

■目次

■平成28年第1回定例会【3月】

平成28年度一般会計当初予算	2~3
提出議案	4
平成28年度特別会計当初予算	4
人事案件	5
平成27年度一般会計補正予算	6
陳情・表彰	6
一般質問	7~11
■熊本地震について	12



会津下郷駅 新駅長

本年4月より、一般財団法人下郷町観光公社が会津下郷駅を運営することになり、新駅長として小山早苗さん(白岩)【写真左】と星多美子さん(塩生)【写真右】が着任しました。

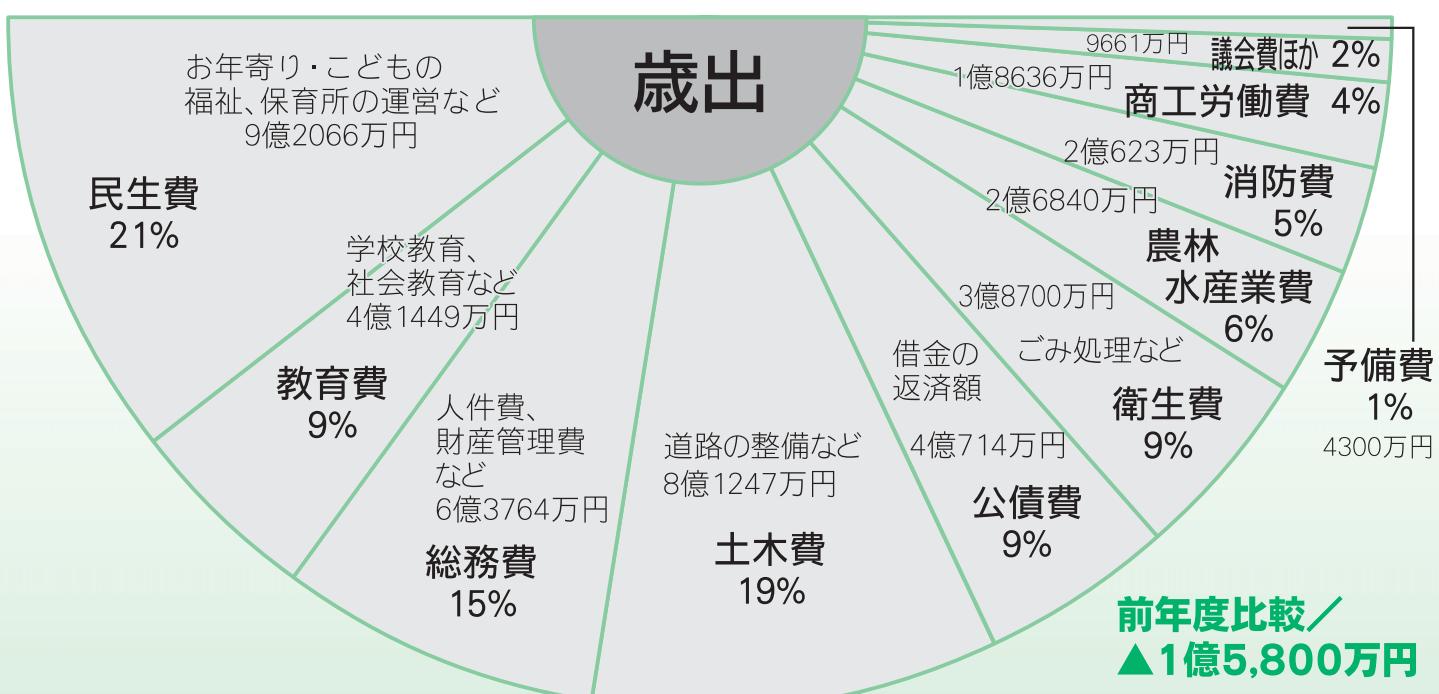
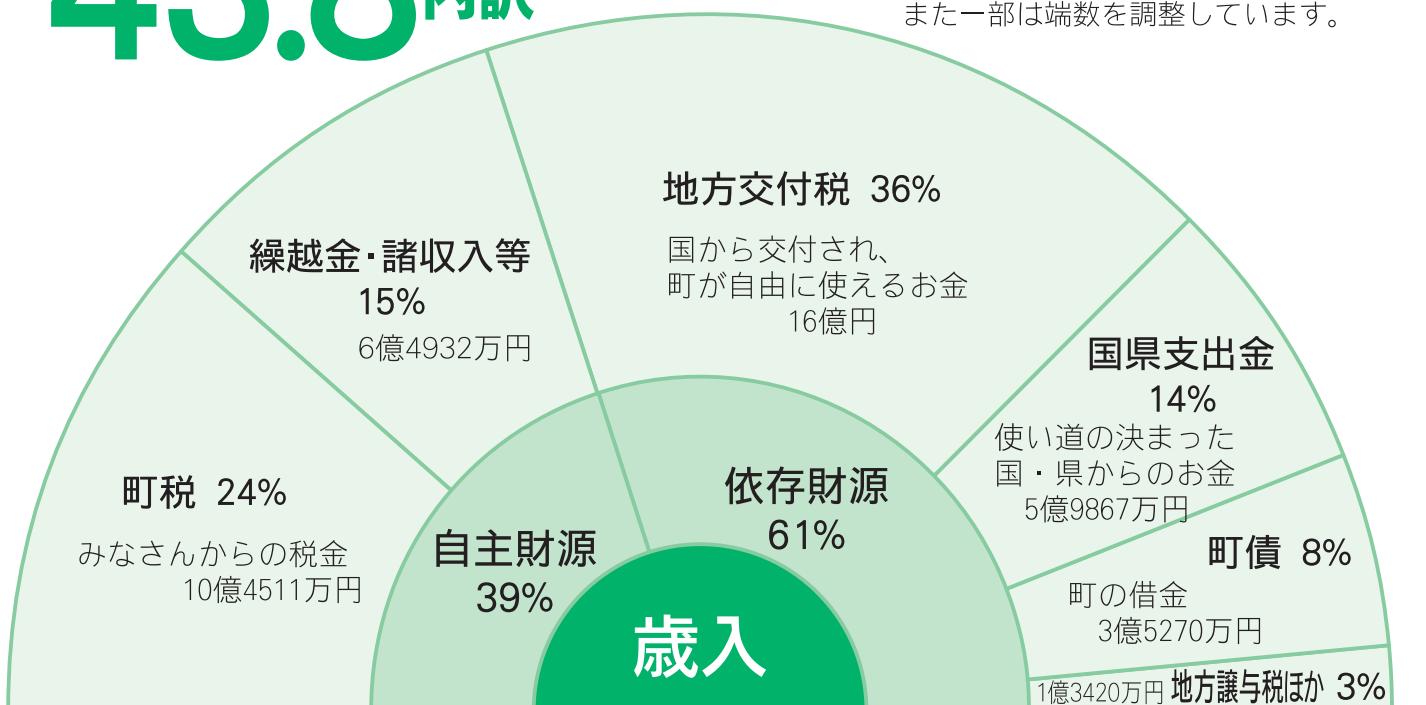
3月2日から10日にかけて3月定例議会が開かれ、28年度当初予算や条例の制定・改正、そして制度改正により初となる農業委員会委員の任命、さらには教育委員会委員などの人事案件等、町長提出議案44件と、議員提出議案3件の全てについて可決しました。

3月定例会

28年度一般会計当初予算

43.8億円の内訳

すべての金額は、読みやすくするため千の位で四捨五入してあり、また一部は端数を調整しています。



第5次下郷町振興計画の 基本目標の沿った予算編成を承認

28年度一般会計当初予算は、27年度に引き続き、第5次下郷町振興計画での「美しく輝く笑顔あふれる交流のまち下郷」を将来像に掲げたまちづくりを目標に、7項目の基本目標に沿った予算編成となりました。

住みやすく
美しいまち
(基盤条件整備)

488,739円

生活路線バスの確保、
除雪機械の購入、道路拡幅、
橋梁補修など

心ふれあう賑わいと
活力を創出するまち
(交流促進)

94,517円

下郷町魅力発信事業、
観光協会補助金、
会津下郷駅改修事業など

ふるさと産業の
創造
(産業経済)

165,316円

物産館農産物直売施設増設
事業、地域振興プレミアム
商品券発行事業など

安全で
住みよいまち
(生活環境)

215,488円

公営住宅建替事業、
パークゴルフ場整備事業、
高齢者除雪支援事業など

健やかに
暮らせるまち
(健康福祉)

341,269円

子ども医療費無料化、
小学校入学祝金、高齢者
タクシー助成事業など

思いやりのある
教育と文化のまち
(教育文化)

90,550円

基礎学力向上事業、
児童・生徒通学費助成、
学校給食費補助事業など

総務文教常任委員会審査の様子
(3月8日)



平成28年度一般会計当初予算及び宅地分譲事業特別会計当初予算の審査は、総務文教常任委員会に付託され、各担当課からの説明を受けて詳細にわたって審議されました。

住民と行政による
協働のまち
(行財政)

9,602円

下郷町公共施設等
総合管理計画策定業務
など

提出された主な議案

【町提出議案】

- ▼専決処分の承認（町税条例の一部改正）
- ▼下郷町過疎地域自立促進計画の策定
- ▼農業委員会委員の任命（11件）
- ▼下郷町行政不服審査会条例の設定
- ▼下郷町行政不服審査法の規定による提出資料等の「写し」等の交付に係る手数料に関する条例の設定
- ▼行政不服審査法改正に伴う町条例の一部改正（3件）
- ▼職員の分限に関する条例等の一部改正
- ▼職員の給与に関する条例の一部改正
- ▼議会議員の議員報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例の一部改正
- ▼町長等の給与及び旅費に関する条例の一部改正
- ▼特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正
- ▼職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正（2件）
- ▼下郷町税条例の一部改正
- ▼介護保険法の改正に伴う町条例の一部改正（2件）
- ▼町道の路線変更
- ▼27年度補正予算（一般会計及び特別会計6件）
28年度当初予算（一般会計及び特別会計6件）
- ▼固定資産評価審査委員会委員の選任
- ▼教育委員会委員の任命
- ▼議員提出議案
- ▼無電柱化の推進に関する法整備を求める意見書の提出
- ▼給付型奨学金制度の導入・拡充と教育費負担の軽減を求める意見書の提出
- ▼福島県最低賃金の引き上げと早期発効を求める意見書の提出

平成28年度特別会計当初予算

国民健康保険、後期高齢者医療、介護保険、簡易水道事業、農業集落排水事業の各特別会計は、産業厚生常任委員会に付託され、各担当課からの説明を受けて詳細にわたって審議されました。また、審議終了後、一般会計についてもそれぞれ説明を受け、質疑応答が行われました。

後期高齢者医療
特別会計
70,307円

前年度比較
▲53千円

介護保険
特別会計
824,525円

前年度比較
▲25,189千円

国民健康保険
特別会計
1,020,000円

前年度比較
▲30,000千円

簡易水道事業
特別会計
207,606円

前年度比較
▲12,444千円

農業集落排水
事業特別会計
27,084円

前年度比較
▲912千円

宅地分譲事業
特別会計
6,020円

前年度比較
±0千円



産業厚生常任委員会審査の様子（3月9日）

13件の人事案件に同意

公選制から町長任命制となって初めての農業委員会委員を選任する11件の議案が提出され、全議案が可決同意され新たな農業委員が誕生しました。

新たな農業委員会委員

(平成28年4月1日から3年間)



佐藤昭一氏
(中妻)



星 隆雄氏
(戸赤)



星 希氏
(小池)



渡部友之氏
(倉村)



佐藤行正氏
(塩生)



佐藤輝男氏
(小松川)



星 兵吉氏
(落合)



星 竹美氏
(音金)



渡部 功氏
(湯野上)



星 正喜氏
(落合)



小山常喜氏
(芦ノ原)



▼教育委員会委員に
佐藤正文氏(中妻)



▼固定資産評価審査
委員会委員に
広瀬正治氏(湯野上)
(再任)

町教育委員会委員に、佐藤
正文氏(中妻字観音前84番地)
を選任する議案が提出され、
可決同意されました。
り辞令が交付され、任期は前
任者の残任期間となる平成29
年12月31日までとなります。
平成28年3月16日に町長よ

平成27年度一般会計補正予算

2160万8千円の減額補正
2億1485万3千円の繰越明許 を可決

◇平成28年度に繰り越しとなった事業

事 業 名	金額(千円)	内 容
地方創生加速化交付金事業	26,100	湯野上地域整備基本計画策定委託料、測量設計業務委託料、おもてなし研修等委託料
	30,860	外国人対応マニュアル作成委託料、会津スマートシティ推進協議会負担金、観光関連施設等改修補助金
雹被害屋根改修事業	18,772	役場庁舎、下郷ふれあいセンター
	15,038	しもごう保育所
	6,268	コミュニティセンター
携帯電話等エリア整備事業	49,436	枝松地区
地方公共団体情報セキュリティ強化対策事業	10,986	役場電算システムセキュリティ事業
畜産競争力強化対策整備事業	50,689	搾乳牛舎建築事業(鶴ヶ池地区)
農業用施設災害復旧事業 (十文字地区)	6,704	平成27年9月関東・東北豪雨災害 (十文字堰)

- ◆給付型奨学金制度の導入・拡充と教育費負担の軽減を求める意見書の提出
- ▽陳情者
下郷町大字豊成字林中60
児山正己 他1名
- ▽陳情者(取下申出者)
下郷町大字大内字山本15
鈴木澄雄 他1名
- ◆「所得税法第56条の廃止」を求める意見書の提出(陳情取下申出)
- ▽結果の議決
- 表 影
- ◆福島県最低賃金の引き上げと早期発効を求める意見書の提出
- ▽陳情者
下郷町大字豊成字林中60
児山正己 他1名
- ▽審査結果の採択
(総務文教常任委員会付託)
- ▽審査結果の採択
(産業厚生常任委員会付託)
- ▽意見書提出の議決
- 内閣総理大臣などに意見書を提出することを議決した。
- 佐藤一美議員が、20年以上にわたる地方自治振興への功績に対して、全国町村議会議長会より表彰されました。
- 平成28年3月定例会の席上、彰状の伝達が行われました。
- 提出することを議決した。



陳
情

質問

ひとり暮らしの方に 高齢者タクシー助成券の増額を

答弁

ひとり暮らしの方に光を当てたい
という気持ちで検討する

問

高齢者タクシー助成券
について、利用してい
りますと話をしていたが、課

題も寄せられている。

ひとり暮らしで車も所有し
ていない人であっても一人5

00円の助成券20枚交付であ
り、一方、同一世帯に一人以

上の対象者がおり、加えて車
を所有し、運転ができる人が
いても一人20枚を受け取るこ
とができる。

一番困っているのはひとり
暮らしの方々で、少し遠くに
通院となれば、買い物にも行
くことができないと話をして
いた。

対策の一つとして相乗りと
いう方法もあるが、もう少し
ひとり暮らしの方々に光を当
ていただければと考えるが
いかがか。

答

高齢者タクシー助成券
については、高齢者の

交通手段の確保と社会参加の
促進を図ることを目的として
おり、課税・非課税、自家用
車所有の有無、世帯状況など
について問うものではない。
平成27年度からは1回の使
用枚数を増やして使用できる
ようにし、なるべくご近所の

方々との相乗りをお勧めして
いるところであるが、様々な
意見をいただいている。
そうした意味でなおさら検
討を加え、ひとり暮らしに光
を当てたいという気持ちで検
討させていただく。

- ② 平成23年9月現在で、町
内の空き家は98軒であり、空
き家法に基づく特定空き家等
は把握していない。
③ 調査目的が空き家等の利
活用を図るための調査であつ
たため把握していない。
④ 今後、適切に管理されて
いない空き家等の実態調査、
空き家等対策計画策定に向け
た準備を進めるために、行政
組織における所掌事務を明確
にしながら、庁舎内の体制構
築、協議会設置等を検討して
いきたいと考えている。

質問

空き家対策計画策定に向けた 行政組織における所掌事務を 明確にしながら検討していく 協議会の設置が必要では

答弁

行政組織における所掌事務を
明確にしながら検討していく

- ① これまで空き家等の実態
調査やアンケート調査を実施
したことがあるのか。
② 空き家等と特定空き家等
は何軒くらいあるのか。
③ 特に景観を損なっている
もの、倒壊の危険性があるな
ど緊急度が極めて高い空き家

ここを問う

佐藤 勤議員の 一般質問

町政



倒壊の恐れがある空き家





ここを問う

佐藤盛雄議員の一般質問

将来を見越した集落再編事業となる下郷町ビジョンの立案を

保育料の第2子目単独での無料化を

住民感情が動く施策であるため集落再編活性化計画は作成しない

公正性等を考慮し方策を検討する

問 下郷町の人口動態は、平成52年度には4,000人を割つてしまふと予想され、過疎自立促進計画でも集落の再編も視野に入れた政策を検討しなければならないとされている。

答弁 トシティー形成支援事業として平成26年8月の改正都市再生特別措置法にあわせて支援の対象に追加され、猪苗代町や矢吹町、新地町などが取り組んでいる。

このような支援事業と将来を見越した集落再編事業をミックスした下郷町ビジョンを立案し、将来を展望し政策を策定すべきと考えるが、町長の所見を伺う。

多目的観光交流施設の今後の進め方を示せ

問 地域住民、宮城大学、行政、議会の四者一体となつて進めていく

答 集落間の合併に関しては、住民感情も動く施策であるため慎重に取り組みをしなければならないと考えることから、再編活性化計画は作成せず、お互い隣接集落同士話し合いが始まったならば全面的な協力とバックアップをしていく考えである。

問 多目的観光交流施設整備事業の概要と進捗状況、今後の進め方を示せ。

答 現在、基本構想成果品が、間もなく宮城大学

から納入される。今後、地域の要望等を取り入れ、宮城大学、行政、議会の四者一体と順序で進めていく。

答 集落間の合併に関しては、住民感情も動く施策であるため慎重に取り組みをしなければならないと考えることから、再編活性化計画は作成せず、お互い隣接集落同士話し合いが始まったならば全面的な協力とバックアップをしていく考えである。

答 有識者会議では、企業誘致をする上で、既存企業であつても労働力不足が

問 工業団地、物流基地はどうのように計画するのか

答弁 専門の方の意見を伺いながら調査、分析し進める

問 企業誘致に関し、平成27年12月定例会に

答弁 おいて町長は、郡内や会津地方でも恵まれた立地条件であるから、こうした立地を活かせる場所を的確に、そして慎重に選定作業を進め、工業団地、物流基地の整備計画を行う。

答 さらに有識者会議の議論を踏まえ場所の特定をすべきと述べているが、具体的にいつ頃、どこに、どのような規模で計画するのか伺う。

答 これらのご意見等を考慮しながら、調査、分析をしながら進めていくと考えているところである。



町政

ここを問う

猪股謙喜議員の一般質問

質問

人材育成の一つとして
地域学を取り入れてはどうか

答弁

学校教育、社会教育に取り入れ、
人材育成に役立てたい

質問

下郷町の自然、歴史、
文化、人物、産業などを
学ぶことによって町民が郷
土観を確立し、さらに地域の
活性化や地域づくりへの動機
づけを図るのに有効な学問で

あると思う。この地域学を体
系的に下郷地域学として確立
することで、年齢に応じて広
く、浅く、そして深くと学習で
きるようにすれば、学校教育
や社会教育に取り入れること
ができると思われるが、人材

育成の一つとして取り入れて
はどうか、当町の考え方伺う。

答

自分たちの生まれ育つ
た下郷町の自然、歴
史、文化等を学び知ることは
大切なことであり、将来本町
の力になるべき人材の育成に
もつながるものと考えており、
本町では、小学校3、4年生
を対象とした社会学習資料で
本町の自然、歴史、文化等を
学ぶ授業を取り入れている。

質問

大川ふるさと公園多目
的広場に常設の屋外ス
テージの設置を

答弁

ステージの常設設置には
色々な角度から検討が必要である

質問

大川ふるさと公園に
屋外ステージの設置を

質問

大川ふるさと公園多目
的広場は、若い子供か
ら高齢者まで幅広く利用され
テージの設置ができるのか。

ふるさと祭りやよさこいの
大会、新たに野外コンサート
など様々なイベントが開催さ
れやすくなり、誘客が期待で
きるが、町長の考え方伺う。

質問

大川ふるさと公園多目
的広場は、若い子供か
ら高齢者まで幅広く利用され
テージの設置ができるのか。

先進地の取り組み事例を参考に
検討すべきと考える

答弁

ジオパーク認定に向けた調査を
阿賀川の渓谷、中山風
穴、観音沼、日暮の滝
など独特な地形を持つ自然豊
かな下郷町にとって、ジオパー
クが適用されるのではないか。
子孫がその恩恵を受ける
ために、ジオパーク認定取得
が可能かどうか調査する考え
はないか伺う。

質問

阿賀川の渓谷、中山風
穴、観音沼、日暮の滝
などを検討すべきではと考え
いる。

中学校においては、道徳の授
業で郷土への思いなどのテー
マで学習している。今後も学
校教育、社会教育の場に地域

に根差した自然、歴史、文化
学び知るための教育活動を取
り入れ、下郷町が好きという
人材を育てていきたい。

質問

ジオパーク認定に向けた調査を



キーワード

「ジオパーク」

地球の活動の様子をとどめ地球科学的に重要な地質
や地形をテーマにした、自然に親しむための公園。地質
遺産と訳されることがある。火山、鍾乳洞(石灰洞)、侵食
地形などの地球科学的に重要な景観に対し、地球科学者
を中心にさまざまな団体が、その保全、教育、観光利用に
関する活動を行ないつつ、地域の持続可能な発展を目指
す仕組みを構築することを目的とする。

ここを問う



室井亞男議員の 一般質問

質問 介護予防事業参加者全員の
送迎実施を

答弁 送迎希望のある教室参加者に
ついては車両送迎を検討する

問 高齢者に対する介護予
防事業として、元気は
つらつ教室、もうひと花教室、
江川パワーアップ教室を実施
しているが、もっと多くの高
齢者が参加できる体制づくり
が必要であり、多少費用を要

しても、全部の人を送迎すべ
きではないか。また、インス
トラクターとして芸能人や著
名人を呼び、多くの方が参加
しやすいような事業にできな
いか町長の考えを伺う。

答 平成28年度から、介護
保険法の改正により3
つの教室を再編することとし
ており、送迎希望のある教室
参加者については車両送迎を

質問 広域消防署下郷出張所が
空所になる場合があるのか
答弁 夜間緊急出動時など空所になり
消防本部対応になる

問 広域消防署下郷出張所
が、夜間に救急出動とな
った場合は、事務所が空所
になり、田島の本部対応にな
ると聞いたが本当か。

答 広域消防署のデジタル
化事業により、通信員

一名の削減が行われ、夜間緊
急出動及び救急出動が重複す
る場合は空所になることがある。
その場合の外線電話は本
部へ転送され、来客対応につ
いては玄関口に設けられた緊
急用映像付電話により消防本
部での対応となつた。



介護予防事業の様子
(元気はつらつ教室)

検討していく。

また、現在は各教室に、知
識と技術を有するインストラ
クターを毎回配置し好評を得
ております、被保険者の皆さんか
ており、被保険者の皆さんか

らの介護保険料で実施してい
る事業であるため、現在の形
態で教室を実施し、多くの方
に参加していただける教室運
営に努めていきたい。

質問 高齢者における
湯野上温泉利用の助成拡充を

答弁 財政面を考慮し十分に検討する

問 高齢者が湯野上温泉旅
館民宿を利用する際に、

温泉とするためにも実施して
はと思うが町長の考えを伺う。

答 平成26年度に引き上げについ
ては、平成26年度に引
き上げし、町老人クラブ連合
会を通じて実施している敬老
会を実施していることからも、財政面
で助成事業で助成額を

業として500円の助成があ
るが、グループでの利用のため、
部屋で休み、食事をとるために、
料金も1,500円から2,000
円となってしまう。もっと気軽に
利用できるよう、助成額を
上げ、また、4人以上の利用
制限があるため、2人でも助成
できないか町長の考えを伺う。

さらに西郷村では、入浴税
100円の負担で入浴できる
よう、利用助成券の配布を全
く行っている。下郷町でも
多くの町民に愛される湯野上

の発行については、もう少し
時間をいただき調査研究をさ
せていただきたい。

全町民に対する利用助成券
の発行については、もう少し
時間をいただき調査研究をさ
せていただきたい。

質問

R289号線とR121号線 交差点改良の進捗状況は

答弁

町は回答する立場はないが、
早期着工に向けて要望を行っていく

とか改良するといった気持ちはあるのか伺う。

林中地区の県道下郷会津本郷線の改良計画については、現交差部から水抜

地域にかけて、道路幅員の狭小区間が多く危険が伴うため、本路線の改良促進期成同盟会や南会津建設事務所との事業調整会等で早期着工などの要望を続けており、今後も要望

活動等を行っていく。
現在の進捗状況については、町は回答する立場はないが、県から相談があつた場合は協力体制をとつていく。

ここを問う

町政

星 輝夫議員の 一般質問



R289号とR121交差点部(塩生～林中)

問

念願の甲子トンネルの開通により交流人口が増えたことは喜ばしいことであり、今後も本町を訪れる人は増えると予想されるが、国

道289号線と国道121号線交差点における下郷会津本郷線改良計画の進捗状況はどうなっているのか。

地区住民から12月に県職員が話ををしていったが、同意には至らなかつたと聞いている

が、なぜ町職員も同行しなかつたのか。

町長は今後、この区間を何

問

本町には多くの高校生があり、会津若松市や南会津町へ会津鉄道を利用して通学している。中には学校の寄宿舎生活、または下宿し通学している高校生もいる。

こういった高校生に対しても通学費補助を設けている自治体が多数あり、三重県鳥羽市では下宿費も補助していると聞く。

町長は小学校入学祝金や小学校給食費補助を公約として実現し、保護者は大変喜んでいるが、町内に高校がない

答

無利子の育英資金貸付で教育の負担軽減で対応している

現状を踏まえて、少し対象を拡大してはいかがなものか。これから下郷町を担う高校生、そしてその保護者負担を少しでも軽くしたい、そんな思いから高校生まで手を差し伸べたらと思うが、町長にその考えはないか伺う。

答

本町には高校がないため、鉄道などを利用して通学しているのが実情であり、進学先には会津管内にどまらず、自分の夢を叶えるために郡山市や秋田県の高校

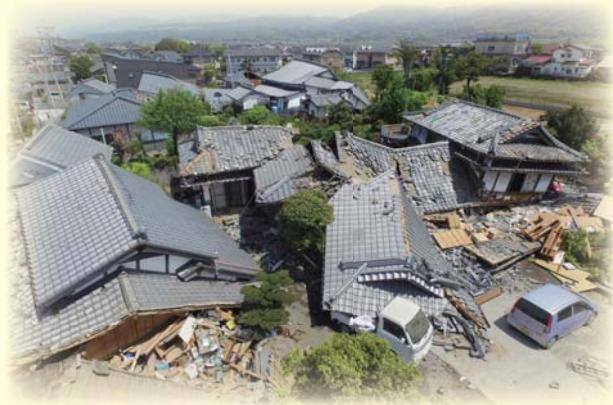
へ進学されている生徒もいる。そのような中、町では下郷町の将来を担う人材育成に向けた取り組みを行ってきているところである。今後も継続していく考え方であるためご理解いただきたい。



鉄道で通学する高校生

熊本地震

震度7を観測
今も余震が続く



このたびの震災において、お亡くなりになられた方に謹んで哀悼の意を表します。また、被災された方々にお見舞いを申し上げます。

平成28年4月14日21時16分、熊本県熊本地方を直下震源とするマグニチュード6.5の「熊本地震」が発生しました。この地震のあと、16日1時25分ごろ、震度6強(マグニチュ

ード7.3)の地震が発生しました(のちに震度7に訂正)。今もなお、多くの余震が発生しています。

当町議会としましては、熊本県町村議会議長会を通じて、見舞金12万円を送らせていただきました。今後の早期の復興をお祈り申し上げたいと思います。



町議会議員一同で見舞金を送付



この度の見舞金に関しては、当該選挙区内にあるものに対する寄付行為ではないため、公職選挙法に抵触することはありません。

公職選挙法第199条の2(抜粋)

公職の候補者又は公職の候補者となろうとする者(公職にある者を含む。以下この条において「公職の候補者等」という。)は、当該選挙区(選挙区がないときは選挙の行われる区域。以下この条において同じ。)内にある者に対し、いかなる名義をもつてするを問わず、寄附をしてはならない。

議会を傍聴しませんか

町議会定例会は3月・6月・9月・12月に開かれます。
お問い合わせは町議会事務局(69-1123)まで

議会広報常任委員会

委員長 猪股 謙喜
副委員長 山名田久美子
委 員 玉川 邦夫
委 員 小椋 淑孝

(猪股
謙喜)

野山の緑も新緑から更にその色が濃くなりました。水田も田植えの時期を迎え、町中が活気があふれています。議会が改選となり、四月から新体制が始まりました。議会広報常任委員会も新しく委員が選出され、本号から編集作業を始めました。議会だよりは、町民の皆様と議会を結ぶ重要な機関紙です。編集委員一丸となって皆様のお役に立つ紙面を作つて参りますので、宜しくお願いいたします。

編集後記